

# 音楽を臨床に活かす：神経疾患の音楽療法

佐藤 正之<sup>†</sup>

治療手段として音楽を用いる場合、対象とする症候・疾患、用いる方法、予想される効果などがある程度決まっていることが必要である。治療として確立するためにはそれに加え、効果をもたらす脳内機序についての理解が求められる。神経疾患に対する音楽療法では、パーキンソン病や認知症の BPSD (behavioral and psychological symptoms of dementia)、失語症に対する Melodic Intonation Therapy (MIT) などの有効性がエビデンスとして確立しつつある。本講演では、神経内科医である筆者がこれまでに行ってきた取り組みについて紹介し、音楽と脳をとりまく医学的研究の現況について概観したい。

## 1. はじめに

音楽療法 (music therapy) は「精神および身体の健康の回復・維持・改善という治療目的を達成するうえで音楽を適用すること」と定義される (全米音楽療法協会)。“治療目的を有する”ということから、単なる趣味や娯楽としての音楽鑑賞、レクリエーションとは区別されるが、実際には音楽を用いて患者に何かはたらきかければ音楽療法と称されることも多い。医療に身を置くものにとっては、どのような手段を用いても患者の利益に役立てれば良いという見方もある一方、医学からみると客観的証拠 (エビデンス) もしくはそれへの志向に基づかない取組は、“治療 (therapy)”ではなく“まじない・祈祷”と同列に捉えられる。あまりに多様な意味をもつようになった“音楽療法”という語に対し、科学的・医学的視点を重視した自らのアプローチを music-supported training (MST) や music-movement therapy (MMT) と呼ぶ研究者もいる。本講演では、後者の意味で音楽療法という語を用いる。

## 2. 神経疾患に対する音楽療法

音楽療法のエビデンスは未だ確立していない。そのような中、neurology において医学的批判に耐えうる質を保持した報告の多いのが、認知症、失語症、パーキンソン病に対する音楽療法である。

### 2.1 認知症

認知症の症候は、もの忘れなどの中核症状と、心理・行動上の異常である behavioral and psychological symptoms of dementia (BPSD) に分けられる。音楽は情動に直接はたらきかけることから BPSD に対する効果が期待されてきたが、最近の複数のシステムティック・レビューでもその有効性が確認されている (McDermott 2012; Ueda 2013)。

### 2.2 失語症

言語能力のすべてを失った全失語の患者が、歌唱の際に

は歌詞を流暢に唱う現象がしばしば観察される。このことから歌唱を失語の訓練に活かせるのではとの期待が生じたが、これまでの報告では単なる歌唱では効果はないか、あっても限定的であった。音楽的な要素を用いた系統的な失語訓練法に melodic intonation therapy (MIT) がある。MIT は音楽のリズムや節回しを利用して失語症患者の発話を改善させる方法で、米国神経学会により有効性が認定されている。本邦へは杉下らのグループによって導入されたが (関 1983)、手法の“肝”にあたるどころが紙面では表しにくいことから汎用されるまでに至っていない。

### 2.3 パーキンソン病

パーキンソン病 (以下 PD) 患者でみられるすくみ足や突進などの歩行障害 (いわゆるパーキンソン歩行) が、床に平行線を引くことにより改善することは、1940 年代から知られてきた。音楽のリズムも同様の効果を持つことが期待され、これまで音楽聴取やメトロノームに合わせて歩くことにより、パーキンソン歩行が改善することが報告されている (Morris 1994)。筆者は、患者自身の歌唱を用いたパーキンソン歩行に対する音楽療法を施行し、良好な結果を得ている (Sato 2008)。

## 参考文献

- 1) McDermott, O., Crellin, N., Ridder, H.M., Orrell, M.: Music therapy in dementia: a narrative synthesis systematic review. *Int J Geriatr Psychiatry*, Vol 28, No.8, pp.781-794 (2013).
- 2) Ueda, T., Suzukamo, Y., Sato, M., Izumi, Shin-ichi.: Effects of music therapy on behavioral and psychological symptoms of dementia: A systematic review and meta-analysis. *Ageing Res Rev.*, Vol 12, pp.628-641 (2013).
- 3) 関 啓子, 杉下守弘.: メロディックイントネーション療法によって改善のみられた Broca 失語の一例. *脳と神経*, Vol 35, pp.1031-1037 (1983).
- 4) Morris ME, Ianssek R, Matyas TA, Summers JJ.: Ability to modulate walking cadence remains intact in Parkinson's disease. *J Neurol Neurosurg Psychiatry*, Vol 57, pp.1532-1534 (1994).
- 5) Sato M, Kuzuhara S.: Training in mental singing while walking improves gait disturbance in Parkinson's disease patients. *Eur Neurol* Vol. 60, pp.237-243, (2008).

<sup>†</sup> 三重大学大学院医学系研究科認知症医療学講座  
Department of Dementia Prevention and Therapeutics,  
Graduate School of Medicine, Mie University